

日本福祉のまちづくり学会全国大会

- 概要集原稿執筆要項 -

高山 太郎¹⁾ 中部 次郎²⁾ 岐阜 花子³⁾

A4判用紙にワープロ等で作成された原稿をオフセット印刷して概要集を作成する。抄録は論文データベース用であり、和文200文字以内、本文と同じ大きさと字体で記す。キーワードは、和文6語以内、ゴシック体で記す。なお、本学会は学際的な特徴を有しているので、専門外の参加者にも容易に理解かつ利用できるよう記述すること。タイトルも専門外の参加者が理解困難と思われる場合は、副題を追加する等の工夫が必要である。

キーワード：キーワード1, キーワード2, キーワード3, キーワード4

1. ページ数とタイトル

論文のページ数は製本の都合から、1演題につき、2ページ、または4ページとする。原稿の構成として、次のような内容を必ず入れる。

- ・ タイトル（主題）,
- ・ - サブタイトル（副題、必要があれば） -
- ・ 著者

の順に連記する。

2. 本文の文字のスタイルと大きさ、配置

活字は本文において明朝体で概ね10ポイント程度とし、1ページあたり22文字×42行の2段組を標準とする。上余白は30mm、左右下余白は25mmとする。ただし、ワードプロセッサの印刷機能により、厳密にこの書式がとれない時はできるだけそれに近い文字の大きさや文字数、行数とする。

3. タイトル、図表の文字のスタイルと大きさ等
タイトル文字はゴシック体とし、主題を14ポイント以上、副題は12ポイント以上とする。図・表の中の文字はできるだけ8ポイント以上とする。図・表のタイトルは日本語を基本とし、ゴシック体を用いる。本文の文字より、1ポイント程度小

さくするとよい。図は「図1」のように番号をふり、図の下側、中央付近におく。表は「表1」のように番号をふり、表の上側、左部分におく。

図・表等は、黒色のペンなどで描き、用紙の中に貼り込む。写真は事務局で製版するので、貼り込む位置を指定して、該当するプリント印画紙、もしくはネガ、またはポジフィルムを同封する。同封するプリント印画紙等の大きさは実際の大きさと異なっていても良いが縦横比は同じになるように注意する。

4. 本文の構成¹⁾

本文の構成は以下のよう順で構成されることが多い。ただし、内容によって適宜変えて差し支えない。

(1)研究目的（もしくは「はじめに」）

本文の導入となるもの、研究に関連した社会情勢や周辺領域に関する動向などを簡単にまとめる。他分野の人に、研究の位置づけを示すことも大事である。

(2)研究（調査）方法

郵送調査やインタビュー調査では、対象、内容と時期、具体的な実施方法、実験等では、装置概要、実験方法、被験者と実施時期、実施場所等を

1)会員：高山大学福祉のまちづくり学部

〒506-0053 高山市昭和町1丁目188-1(高山市民文化会館内) TEL: , FAX: , E-mail:

2)会員：中部大学工学部土木工学科、〒487-8501 愛知県春日井市松本町1200, TEL:0568-51-1111(4272), FAX:0568-51-1495, E-mail:tomohiko@isc.chubu.ac.jp

3)学生会員：東京都立大学 学部 学科

〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1 TEL:0426-77-1111, FAX:??????, E-mail:??????@??????

記す。

これらについては、図や表にしたほうが端的に表せるときは図・表にする。

(3)研究(調査)結果

得られたデータや集計結果を書く。結果を表、もしくは図化したものの方が、限られたスペースで多くの情報をわかりやすく伝えることができる。

(4)考察

結果を受けて、その内容を筆者なりに考えた内容を記す。

(5)おわりに(もしくは「今後の展開」、「まとめ」等)

今後この研究をどのように展開していきたいのかなどをまとめる。

(6)文献

研究方法や論文の構成、その他、研究をすすめるにあたって参考とした文献や、文中で引用や、比較などのために引用されたものをいう。引用した文献は、引用箇所とページを明記する。

いずれも、活字を本文より1ポイント程度落とすと良い。

5. 提出期限等

(1)発表申し込み期限: 2003年4月20日(日) (消印有効)

この日までに下記の(3)提出物の発表概要を申込先に発送するか、E-mailで送信してください。

(2)本原稿提出期限: 2003年5月6日(月)

(消印有効)

この日までに下記の(3)提出物のと(発表原稿1部とそのコピー1部)を申込先に発送してください。

(封筒のわかりやすい箇所に『日本福祉のまちづくり学会全国大会概要集原稿在中』と記入して下さい。また、できる限り、簡易書留でお願いします。)

また、E-mailで送付希望の方は、の内容をメール文とし、それにをPDFファイル化して添付してください。受付の返信がない場合は、再度問い合わせをお願いします。

(3)提出物:

発表概要

A4用紙に以下のことを記載してください。

発表論文の題目

発表者の氏名(ふりがな)、所属、連絡先

連名者の氏名(ふりがな)、所属、連絡先

(連名者も学会員とします。非会員の方は、入会手続きをお願いします。)

内容要旨(200字程度)

キーワード(6語以内)

また、できましたら、既発表の有無をお知らせください(なお、他学会で既に発表したものでも受け付けます。)

発表原稿1部

のコピー1部

なお、提出原稿の裏面上部に鉛筆で第一著者名、論文題名の数文字、ページ番号/総ページ数を記入して下さい。

(例:木村、「車いすの視認性に・・・」,1/4)
原稿は版下原稿でお願いします。印刷の都合上、受付後にFD,CD-ROM等での提出をお願いすることあります。

印刷時に写真の組み込みを希望する方は、本要領3.に従って、写真を同封してください(なお、送付された写真の返送は致しかねますので、ご了承下さい)。

(4)発表形式:

現在、発表形式はOHPまたはスライドを予定しております。また発表時間も一つあたり15~20分(質疑時間を除く)を予定しております。

6. 質問等の連絡先、申込先

〒487-8501 愛知県春日井市松本町1200

中部大学工学部土木工学科 磯部友彦 宛

ご質問等は、できるだけE-mail、ファックス、又は、郵便をお使い下さい。

tomohiko@isc.chubu.ac.jp

FAX:0568-51-1495

TEL:0568-51-1111(4272)

文 献

- 1) 八藤後 猛:シリーズ 論文を投稿してみよう, - その1 論文の構成と内容-, 福祉のまちづくり研究, 第4巻, 第2号, pp.30-32, 2003